

定期予防接種一覧表

※標準的な接種期間に受けましょう。

令和8年4月

種類	予防する病気	※標準的な接種期間	定期接種の対象年齢	接種の目安															
				0歳							1歳		2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳半	
				6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月							0~3か月
ロタウイルスワクチン □タリックス (2回) □タテック (3回)	経口生	□ロタウイルス感染症 ■1回目 生後2か月～出生14週6日まで ■2回目以降 1回目終了後27日以上の間隔をおく	生後6週～生後24週0日後まで	1回目	2回目	27日以上の間隔をあけて2回接種。		※ロタウイルスワクチンは、令和2年8月1日生まれ以降の方が定期接種の対象です。											
			生後6週～生後32週0日後まで	1回目	2回目	3回目	27日以上の間隔をあけて3回接種。												
B型肝炎 (3回)	不活化	急性肝炎慢性肝炎	生後2～9か月に至るまで	生後2か月～1歳の誕生日の前日まで	1回目	2回目	27日以上の間隔をあけて2回接種。		3回目	1回目から139日以上の間隔あけて1回接種。									
肺炎球菌ワクチン (4回)	不活化	肺炎球菌性髄膜炎	■初回①～③ 生後2～7か月(1歳までに完了) ■追加 12～15か月に至るまで	生後2か月～5歳の誕生日の前日まで	初回①	初回②	初回③	27日以上の間隔をあけて3回接種。		追加	初回③終了後60日以上あけて生後12か月以降に1回接種。								
5種混合 (4回)	不活化	ジフテリア百日ぜきポリオ破傷風ヒブによる髄膜炎	■初回①～③ 生後2～7か月に至るまでに開始し、4週間から8週間までの間隔を置いて3回接種 ■追加 初回終了後6～18か月までの間隔をおく	生後2か月～7歳6か月の前日まで	初回①	初回②	初回③	20日以上の間隔をあけて3回接種。		追加	初回③終了後、6か月以上の間隔を置いて1回接種。								
BCG (1回)	注射生	結核	生後5～8か月に達するまで	1歳の誕生日の前日まで	1回目				1歳までに忘れずに接種しましょう。										
MR 麻しん・風しん (2回)	注射生	はしか三日はしか	■I期 1～2歳に至るまで(2歳誕生日の前日) ■II期 6歳になる年度(年長児の年)		感染力が高いので、1歳になったらすぐ接種しましょう。				I期	年長児の学年のできるだけ早いうち(4～6月)に接種しましょう。					II期				
水痘 (2回)	注射生	水ぼうそう	■1回目 12～15か月に達するまで ■2回目 1回目終了後6～12か月までの間隔をおく	1歳～3歳の誕生日の前日まで					1回目	2回目	1回目から3か月以上の間隔をあけて1回接種。								
日本脳炎 I期 (3回)	不活化	日本脳炎	■初回①② 3～4歳に達するまでの期間 ■追加 4～5歳に達するまでの期間(初回から概ね1年経過後)	7歳6か月の前日まで	1期初回①から6日以上の間隔をあけて2回目接種 1期追加:1期初回②終了後6か月以上あけて1回接種。						初回①	初回②	追加						

※日本脳炎II期(1回)は9歳～13歳未満の者に接種するため、9歳の誕生日の末日に郵送します。

※2種混合II期(1回)は11歳～13歳未満の者に接種するため、12歳を迎える年度(小学校6年生)の4月に郵送します。

※HPVワクチンは12歳～16歳の女性に接種するため、12歳を迎える年度(小学6年生)の4月に郵送します。接種間隔については定期接種一覧表2をご覧ください。

★接種間隔の起算日は、接種した日の翌日です。注射生ワクチン接種後、別の種類の注射生ワクチンを接種する場合は、接種した翌日から27日以上あける必要があります。

★長期にわたり療養が必要な疾患により期間内に接種ができない場合は、健康推進課までご相談ください。

参考文献:2025年度版 予防接種ガイドライン



【問い合わせ】七尾市健康福祉部健康推進課 TEL53-3624